

はねっと 5

仙台市市民活動サポートセンター通信 ぱれっと

“ぱれっと”には、仙台市市民活動サポートセンター(サポセン)にいろいろな人が集まり、それぞれの色(個性)が発揮され、新しい出会いや活動が生まれていく。そんな願いがこめられています。



一歩踏み出す気持ち芽生える「ワクワクビト」

病気があっても、より良く 生きられるように支えたい

フラッペ Flappaix 代表 ささがわ しょう 笹川 聖 さん(23)

「医師である前に人に寄り添える人間になりたい」と話すのは、東北大学医学部医学科6年生の笹川さんです。Flappaixという団体を立ち上げ、医療系学生が患者やその家族たちと交流する場づくりをしています。例えば、地域の福祉施設や病院などでの「出張カフェ」。医学生がカフェ店員になり、飲み物を提供しながら何気ない会話を楽しまします。学生たちに人生のアドバイスや冗談を言う人もいれば、密かに抱える孤独感、家族や体調の悩みを吐露する人もいます。笹川さんは、「自分たちがつながりの一端を担うことで、“楽しい時間だった”“今日は寂しくなかった”と感じてもらえたら」と話します。大切にしているのは、医療者と患者という立場ではなく、一人の人として関わること。問診ではなく雑談だから聞ける言葉から、できるケアを探し続けています。

活動のきっかけは、病棟実習での難病患者との出会い。医師から治療法はまだないことを告げられ嘆く患者に、これまで必死に詰め込んできた医学知識は何の救いにもなりません。病気を治すことを目標に学んできた笹川さんは、「無力感で、自分の存在価値が揺らいだ」と、振り返ります。実習で学ぶのは診断まででしたが、「何かできることはないか」と、患者のもとに何度も足を運び聞いたのは、「話を聞いてくれてありがとう」という言葉。「相手の苦しさや寂しさを分かろうとすることが、その人の救いになることもある」という気づきが、希望になりました。人間的な関わりを大切に思うのは、笹川さんが患者家族でもあるからです。病気と向き合う中で、家族が崩壊しそうになったこともありました。思いを馳せずにはいられないのは、医



師の診断後も続く、患者とその家族の日々の暮らしです。

「生活習慣の変化により、慢性疾患を抱える方が増えています。病気がない状態を目指すのではなく、病気がありながらその人がより良く生きることを支える医療が大事になってきている」と、笹川さん。医療系学生が地域に出て、生きることや患者の人生に寄り添うことを学ぶこの活動の継承が、今後の目標です。

Flappaix

2024年7月から県内の医学生3人で活動中。



Instagram

住民主催のイベントにも出店し、子どもから高齢者まで多くの人が集まりました。





活動の幅を広げるお役立ち情報「活動に+（プラス）」

演劇、音楽など仙台の芸術文化を育む「自宅劇場」

2024年6月、仙台市太白区郡山の住宅街に、民家の2階を改装した劇場がオープンしました。その名も「The Sun Theater（せんだい太陽劇場）」。長年にわたって県内高校で演劇部顧問を務めてきた杉内浩幸さんが、自らの資金で自宅を改装し、照明・音響など必要機材をそろえました。広さは客席を含め20畳ほどです。杉内さんは「演劇でも音楽でも、芸術文化に関することなら何でも応援できれば」と、水道・光熱費をまかなう最低限の使用料金で開放。稽古や公演の場として誰でも利用することができます。オープン以来、演劇公演や音楽ライブ、朗読劇のための朗読教室などに利用されており、周辺住民も観客として訪れます。客席との距離が近く、間近で観客の反応を感じられることも魅力の、新しい文化芸術拠点です。



The Sun Theater（せんだい太陽劇場）

定員：25名程度

使用料：午前、午後、夜間など1区分500円（準備使用時300円）

※不定休。詳細は要問合せ

Mail sugisugi_h@me.com



活動を始める一歩を応援「コトハジメ」

地域の防犯活動「歩くボランティア」を気軽に始めよう！

ボランティア活動を始めたとしても時間が取れないなど、ハードルを感じることはありませんか。仙台市では、「アイ・アイ キンジョパトロール」と題して、自分の活動時間・行動範囲に合わせて気軽にできる「歩くボランティア」の登録者を募集しています。活動内容は、防犯意識を持って自分の住む地域を見守ることです。地域の防犯のために改善が必要と感じる、暗い道や公園などを仙台市市民生活課へ報告したり、犯罪・危険な行為を警察に通報したりします。登録申請をすると、活動中に身に着ける登録証などが支給され、その日から活動を始められます。ウォーキングが趣味、犬の散歩が日課という人にもおすすめです。自分の生活スタイルに合わせてできる「歩くボランティア」から始めてみませんか。



▲登録証には「キンジョパトロール」にちなみ「キンギョ」のイラストがデザインされています。

アイ・アイ キンジョパトロール

申込み ①HP内の申し込みフォームに入力

②HP内の申込書をダウンロードし郵便・FAXで送付

問合せ 仙台市市民局市民生活課 歩くボランティア担当(TEL 022-214-6151)

HP▶



仙台市市民活動サポートセンターとは

様々な分野の市民活動、ボランティア活動の支援施設です。「自分たちのまちをもっと良くしたい」。そんな市民の自発的な活動を応援します。お気軽にご相談ください。

今月の休館日 5月14日（水）、28日（水）

開館時間 月曜日～土曜日 9:00-22:00

日曜日・祝日 9:00-18:00

休館日 毎月第2・第4水曜日（祝日の場合は翌日木曜日）年末年始

〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3

TEL 022-212-3010 FAX 022-268-4042

[ホームページ] <https://sapo-sen.jp>

[サポセンブログ@仙台] <https://blog.canpan.info/fukkou/>

「ばれっと」バックナンバーは
ホームページからダウンロードできます。



ほぼ毎日更新している「サポセンブログ@仙台」で、取材の様子やこぼれ話を配信しています。

編集・発行

仙台市市民活動サポートセンター

（指定管理者：特定非営利活動法人

せんだいみやぎNPOセンター）

発行日 2025年5月1日

デザイン PEACE Inc.

[Twitter]

@SCSC4CA

[YouTube]

サポセンちゃんねる

